

皆様、お久しぶり、福山雅治です。
なーんて、そんなわけなく、杉原です。

そういや前回の社長通信で、今年のテーマを発表するの忘れてました。
私の場合、抱負でもなく、目標でもなく、テーマを持って一年を過ごす事にしてるんです。
今年のテーマ、それは“あきらめない”です。
なんかハンパな感じもしますが、全てにおいて“あきらめない”なんです。
具体的には、“夢をあきらめない”もあるし、くじけそうな時の“あきらめない”もある。
そーいった、いろんな意味の“あきらめない”。
私にとっての今年一年の“あきらめない”をご覧くださいませ。
年末が楽しみだなあ～。
なーんて、5月くらいでいきなり、あきらめてたりして(苦笑)

ところで最近、アメ車を買っちゃいました。しかも2台。バカでしょ～。
この原油高騰の時代に、ガソリンたれ流しみたいな車乗ってんだもの。
笑っちゃうでしょ、やっぱさあ人生笑ったもん勝ちだよな。失敗しても間違っても、それを、笑いとばすぐらいの人生でなきゃ。
ちなみにアメ車って、アメリカ車って事だよ。わかってるって？
燃費が悪いのはさておき、アメ車といえばまず、でっかいボディ。このでっかいボディに左ハンドルは実に運転しづらい。しかもボディがでかいわりに意外と室内がせまく、荷物なんかどこに積みばいいのやら...。
それでも 4.3L もあるムダに大きなエンジン。さぞかしパワフルかと思いきや、出足の悪りいーのなんの、しかも高速では 100km しか出ない。なんだこりゃ？
アメ車に長所はないのか？あります。なんといっても安全性。どこから衝突しても乗員が死なないように出来ている。いまや国産車でもゾーンボディとかゴアとかありますが、アメ車はそんなもんじゃない。異常に鉄板が厚いの。ドアなんか分厚くてすんげえ重いし、ワゴン車のサイドのスライドドアなんて、子供には開けることが出来ません、重くて。その点、日本人はえらい。いかに軽量化しつつ安全性を高めるか本気で考えてるもの。きっとアメリカ人にその発想はない。
よく言えば、おおざっぱ。もとい、おおらか。かな？
アメ車といえば故障はつきもの。先日、走行していたら何やら外の方で爆音が聞こえてきて、いかにアメ車とはいえ迫力がありすぎる、もしや？と思いガソリンの給油口を開けてみると「バッシュウウ～」と気化したガソリンが吹き出てくる。
くわえタバコなら死んでたな、と思いつつ、もったいないが気化ガソリンを空気中に放出させる。圧を抜くと音が収まるので、う～ん、どこが原因で？
まっそんな事も笑い話にできる。アメ車はやっぱりいい！（ムリヤリ）

さて、ここからは、全体総会も兼ねた真面目な話をしましょう。

まず、改めて初心に帰って、清掃、片付けをキチンとできるようになりましょう。
というお話です。別紙にイエローハットの鍵山相談役の記事をのせておきましたので、
ぜひ読んでみて下さい。

『立つ鳥は跡をにごさず』という言葉がありますが、この言葉の本当の意味は、後片付け
をせず、使った道具の手入れをせず、靴を揃えぬ・・・これを忘れることが、いろいろな
不幸の原因になりますよ、という後始末の重要性を教えている、ことわざです。

また、『実験倫理学体系』の「実践の要件」の10番目が「慎終(しんしゅう)」です。
後始末をよくすること。後片付けを立派にすること。一度すえてもこれでよいかと一度動
かしてみる。終止符はポンと打つこと。心残りなくしておくこと、と書いてあります。

そして、『サラリーマンと経営者の心得』の中にも、事業を思い立ち、仕事や行事を進め
これを成就する上での心構えの1つに「始末」が大切であると言っています。
「後始末はよいか。ぬかりはないか。くくりはよいか。あと始末ができなければ物事は、
まだ完成したのではない。ここからヒビが入り、穴があいてくずれる」と、誰もがわかっ
ている、当たり前なことですが、意外と出来ていない人が多い。
グズグズ、ダラダラと問題を先送りにしたり、出来ない、やれない理由づけを考えるひま
があるなら、目の前の1つ1つにピシッと鋭くピリオドを打つべきだと思います。

弊社にはいませんが、よその会社の社員さんの中には、できないやれない理由の言い訳を
する人がいます。あーだとか、こーだとか、ようは「やれませんか」「できません」という事。
もっと突き詰めてゆけば、自分には能力も熱意もやる気もない人間ですと、広言している
ようなものです。

どこにいても、何をやっても常に壁があるのは当たり前のこと。

自分の仕事をより素晴らしいものにするのは、自分以外にいないという気概を持つこと。
他人に頼らず、他人におもねらず、今やれるところから精一杯、打てる手を打ってやり抜
くことです。

やっただけ、動いただけ、必ず結果がでます。

自らの限りない力を信じ、立ち止まることなく走り抜きましょう。

さて、みなさんは、楽しい仕事と楽な仕事、どちらを選びますか？

誰しも“楽”な方がいいですね。

でも、“楽”な仕事っていうのは、ムダに働きたくないって事だから、例えば時間ぎりぎりに出社して、帰る時は時計を見ながら、10分前くらいには、すでに帰り支度ができていて、今か今かと5時丁度にタイムカードを押して帰る。

みたいなのが、究極の“楽”ですね。

だって、必要以上に働く必要ないんだもの。

でもそれって楽しいかなあ？

それとも、早めに出社して、勤務開始時間には気持ち良く仕事が始められ、与えられた仕事に対して、精一杯取り組み、納得いくまでやろう、今日はここまでやってしまおうという気持ちから、結果的に勤務時間外まで仕事してしまう。

いっけん大変そうに見えるかも知れないけど、本人はいきいきと充実して働いているから全然苦になっていない。

むしろ仕事が楽しいっていうのは、こういうことなんじゃないかな？

時間から時間までが仕事という気持ちで働くより、やりがいを感じて、仕事した方がとても楽しいと思います。

これは仕事に例えてますが、きっと人生も一緒なんだと思いますよ。

何事も楽しいと思って行動すれば、きっと幸せな気持ちになれるよね。

楽な人生ではなく、楽しい人生を目指しましょう！

人生にムダなことは1つもないんですが、ムダになるときがあるとするば、それは何かをやろうとする事をあきらめた時ですね。

あきらめてしまえば、そこから学ぶものは何もないんです。

2007年度も皆さんにとって、実り多い年になりますように、チカラを合わせて

頑張りましょう！

平成 19 年 3 月吉日

株式会社 杉原建築設計事務所
代表取締役 杉原 吉朝